

せたな町合併10周年記念事業「母の日」プレゼント
せたなおばあ〜ずコレクション

Koho - kenbunroku



5月10日(日) 温かい日差しに包まれた「母の日」に大成町民センター大ホールにおいて、彩りネット主催によるファッションショー「せたなおばあ〜ずコレクション」が開催されました。

4歳の女の子から101歳のおばあちゃんまで笑顔でランウェイを歩き、高橋町長も着流し姿でモデルデビューを果たしました。

せたな町合併10周年記念事業のスタートとなったこの日、会場は100人を超える町民の皆さんの歓声と拍手に沸きました。(表紙は78歳の娘と101歳の母のランウェイデビュー)

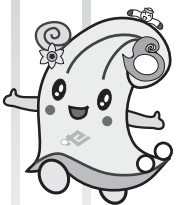
編集後記

●自他ともに認めるインドア派の清水ですが、今月は水仙まつりロードレースやファイターズ応援観戦のスタッフ随行など、アウトドアな活動が多かったです。ロードレースではスタートの壮観な絵を前から撮影、ファイターズ応援では初の札幌ドーム観戦など「はじめて」がたくさんでした。屋外の撮影は、室内よりシャッターを切りやすいので楽しくて、気づくとつい連写しています。今年はこのままアウトドアな活動を増やして、夏までにカメラ上達、さらには小麦色に日焼けしてみたいです。【清水】

●水仙まつりやファイターズの撮影スタッフなどを清水に任せていたにも関わらず、気が付けば春なのに自分が小麦色を通り越すほどの日焼けをしていました。会う人会う人に「黒いね」と言われています。春の日差しは油断できないですね。このまま夏を迎えたらどれだけ黒くなるんだろう…。そんな不安を抱える今日この頃、「元気が良かった」とか「天丈夫かい」という「かい」というのが北海道弁だったのを恥ずかしながらも最近知りました。方言と知って使っていると、知らないで使っているのはなんだかちょっと恥ずかしい気持ちになります。それなら、かくれんぼの「もっかい」とか、ライプなどの「みんなノツてるかい」とかは方言じゃないの?と思って調べてみたら、語尾が「…かい」と呼びかける感じのものも通常の表現になるので都会の人にも違和感が無いそうです。ただ、この話を「そつなんだ」と思ってしまう人は少ないんじゃないでしょうか。まさか自分だけ?そして「そつなんだ」も北海道の方言だったようです。【尾野】

編集・発行 せたな町総務課広報統計係
〒049 - 4592 久遠郡せたな町北檜山区徳島63番地1
☎0137 - 84 - 5111 / ☎0137 - 84 - 4657

せたな町公式ホームページ
<http://www.town.setana.lg.jp/>



せたな町公式
マスコットキャラクター
セターナちゃん